

2022年1月16日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会

第64巻第42号(通算3270号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

週報

教会標語

^{かみさま}神様がすべての人^{ひと}と共^{とも}におられる
ことを証^{あかし}ししていく教会^{きょうかい}



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人がみな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

こうたんせつだい しゅじつれいはい 降誕節第4主日礼拝

^{れいはい}《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
^{しちょう}ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

^{ぜん そう もくとう}前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (^{ちよさくけんしょうめつ}©著作権消滅)

^{まね}招きの詞 ^{しへん}詩編 ^{へん}36編 ^{せつ}10節

^{さんびか}賛美歌 21-127番「み恵みあふれる」(^{ちよさくけんしょうめつ}©著作権消滅)

^{せいしよ}聖書 ^{ふくいんしよ}ヨハネによる福音書 ^{しょう}2章 ^{せつ}1-11節

^{いの}お祈り

^{さんびか}賛美歌 21-286番「ほめたたえよ、われらの主を」(^{しゅ}©JASRAC)

メッセージ「サケがない」 ^{おかじま ちひろ でんどうし むかいじま でんどうしよ}岡嶋 千宙 伝道師 (向島伝道所)

^{さんびか}賛美歌 21-560「主イエスにおいては」(^{ちよさくけんしょうめつ}©著作権消滅)

^{しゅ いの}主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(^{きょうだんさんびかかいていいんかい}©教団讚美歌改訂委員会)

^{ささげもの}献げ物 (*)

^{はけん}派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (^{せつ}©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福 ^{おかじま ちひろ でんどうし むかいじま でんどうしよ}岡嶋 千宙 伝道師 (向島伝道所)

^{こうそう}後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (^{ちよさくけんしょうめつ}©著作権消滅)

^{ほうこく}報告 (4頁をご参照ください)

《^{となり かんかく}お隣と間隔をあけて、^{せき すわ}席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*「^{ささげもの けんきん}献げ物(献金)」は参加費ではございません。

^{うけつけ けんきんばこ}受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、^{ようい かた}お献げください。

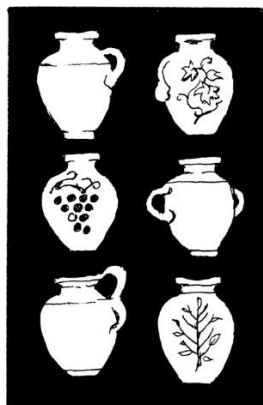
招きの詞 詩編 36 編 10 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

命の泉はあなたのもとにあり
あなたの光によって、私たちは光を見ます。

聖書 ヨハネによる福音書 2章 1-11 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹三日目に、ガリラヤのカナで婚礼があつて、イエスの母がそこにいた。²イエスとその弟子たちも婚礼に招かれた。³ぶどう酒がなくなつてしまつたとき、母がイエスに、「ぶどう酒がありません」と言つた。⁴イエスは母に言われた。「女よ、私とどんな関わりがあるのです。私の時はまだ来ていません。」⁵母は召し使いたちに、「この方が言いつけるとおりにしてください」と言つた。⁶そこには、ユダヤ人が清めに用いる石の水がめが六つ置いてあつた。いずれも二ないし三^aメトレテス入りのものである。⁷イエスが、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言われると、召し使いたちは、かめの縁^{ふち}まで水を満たした。⁸イエスは、「さあ、それを汲んで、宴会の世話役のところへ持つて行きなさい」と言われた。召し使いたちは運んで行つた。⁹世話役が水をなめてみると、ぶどう酒に変わつていた。それがどこから来たものなのか、分からなかつたので——水を汲んだ召し使いたちは知つていたが——、世話役は花婿を呼んで、¹⁰言つた。「誰でも初めに良いぶどう酒を出し、酔いが回つた頃に劣つたものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取つておられました。」¹¹イエスは、この最初のしるしをガリラヤのカナで行つて、その栄光を現された。それで、弟子たちはイエスを信じた。

(注 a：容積を表す単位：約 39 リットル)



《先週のメッセージより》2022年1月9日 降誕節第3主日礼拝

「どちらの側から目を注ぎますか」より

牛田匡牧師

聖書 マルコによる福音書 1章14-20節

今回の聖書の言葉「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて、福音を信じなさい」は、「マルコによる福音書」ではイエス様の最初の言葉、第一声となっています。その中にある「悔い改める」という日本語から連想するのは、「やってしまったことを反省し、深く後悔して、心を改める」ということではないかと思いますが、もともとのギリシャ語「メタノイア」の意味は、「視点を移す」です。人は自分がどこに立っているかによって、見えるものが異なります。背が高く立っている大人の人と、まだハイハイをしているような赤ちゃんとは、見えているものが異なるだけではなく、それこそ生きている世界が異なるとさえ言えるのではないのでしょうか。

では「視点を移す」という時に、一体どこに視点を移すのでしょうか。それはイエス様が生き生まれ、目を注がれた所、つまり社会の中で抑圧され、小さく低くされている人たち、今も痛みの中にいる人たちの所でした。ですので、この「メタノイア」という言葉を、社会の底辺である「低みに立って見直す」という翻訳もあります。「悔い改める」という言葉と「低みに立って見直す」という言葉とでは、全然違う言葉に感じるのではないのでしょうか。その後、イエス様は4人の漁師に声をかけられました。「漁師」もまた当時、貧困と被差別に苦しめられていた弱く小さくされていた人たちでした。イエス様はそのような人たちをあえて選んで声をかけられました。「私について来なさい」。彼らはすぐにイエス様についていきました。とはいえ、イエス様に付いて行ったこの4人は、この後もイエス様と行動を共にしながらも、迷わなくなったわけでもなく、悩まなくなったわけでもなく、時にはイエス様を疑い、裏切ることもありました。それでもイエス様は彼らを赦されました。そのようにして彼らはやがて、イエス様と同じ視点、命の神と同じ所へ目を注ぐ者へと変えられていきました。

私たちは今、どこに誰と一緒にいて、どちらの側から目を注いでいるのでしょうか。また命の神の目はどこに注がれているのでしょうか。この新型コロナ感染爆発「第6波」の中、具体的な行動として私たちに出来ることは多くないかもしれませんが、たとえ力は小さくても、神様は「私に付いて来なさい」と言って、ありのままの私たちを豊かに用いてくださいます。神様がいつも共にいて働いて下さることに信頼して、私たちは低みに立って見直す歩みへと導かれていきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

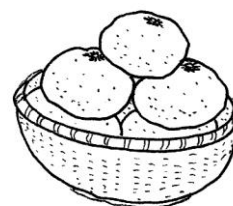


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 1月9日 降誕節第3主日礼拝

礼拝出席 大人5名 中継動画再生数 12回
 献金 大人4,000円 感謝



◎次週 2022年1月23日(日) 降誕節第5主日礼拝

招きの詞 申命記 30章 14節

聖書 ペトロの手紙一 1章 3-12節

メッセージ「試練と信仰」牛田匡牧師

賛美歌 21-408番 (©JASRAC)、21-481番 (©改訂委)、21-452 (©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継いたします。礼拝後に釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・ 今年のクリスマスに皆様から頂いた「クリスマス献金」は合計123,851円でした。地域の方々などにお配りした2,000枚の「クリスマスカード」代26,400円を差し引き、「関西学院大学神学部後援会」「日本基督教団伝道委員会 開拓伝道援助資金献金」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「日本基督教団部落解放センター」「一般社団法人・神戸国際支援機構」「生活困窮者支援(含・釜ヶ崎いこい食堂おにぎり支援)」の6団体に献金いたします。どうもありがとうございました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染爆発「第6波」が続いています。ご自身が予防するためにも、また他人に感染させないためにも、医療崩壊を起こさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・ 1月17日(月)は大阪教区の災害訓練日です。災害伝言ダイヤル「171」→教区事務所「06-6761-8562」→再生「2」で、教区が録音したメッセージを聞くことができます。災害時への訓練として、ぜひ聞いてみてください。
- ・ 1月17日(月)18時から「兵庫県南部大地震記念の日追悼礼拝」(主催：日本基督教団兵庫教区)がオンライン・ライブ映像配信によって開催されます。式次第は兵庫教区事務所ホームページにてダウンロードできます。礼拝のライブ配信はQRコードよりご視聴ください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
1/23	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
1/30	平松牧師 (八尾東教会)	河内地区有志教会講壇交換礼拝 (午後)河内地区婦人会(ZOOMオンライン開催)
2/6	牛田牧師	聖餐式・教会を考える会
2/13	牛田牧師	(信教の自由を守る日)・聖書を読む会?

家族への連絡方法

災害用伝言ダイヤル 171

災害時の連絡方法について、あらかじめ家族と確認しておきましょう。災害用伝言ダイヤルは災害時のみに使用できます。

171 をダイヤル

録音 ↓ ガイダンス ↓ 再生

1 をダイヤル 2 をダイヤル

↓ ↓

ガイダンス

自宅の電話番号を市外局番からダイヤル 連絡を取りたい方の電話番号を市外局番からダイヤル

ガイダンスに従って録音(再生)します。

伝言録音時間：1伝言あたり30秒以内
 伝言保存期間：録音してから48時間
 伝言蓄積数：電話番号あたり1~10伝言

携帯電話各社でも災害発生時は「災害用伝言板」等のサイトが利用できます。利用方法を確認しておきましょう。